

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	25	事業名	総合型スポーツクラブ運営事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市スポーツ推進計画	9-5-1 保健体育費	
	事業開始の背景、経緯等	がんばらっせ長久手スポーツクラブは、「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、子どもから高齢者まで全ての人が様々なスポーツを気軽に楽しむ地域主体のスポーツクラブを目指し平成24年度に設立したが、地域主体の運営の担い手が不在で、現在の実施事業は、行政主体の教室開催のみである。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 子どもから高齢者まで、様々な人がスポーツと触れあうことができるスポーツクラブを市民や地域が主体となって運営できるよう支援する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(在住、在学、在勤)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域の人々が、年齢、興味、関心、技術レベル等にに応じた様々なスポーツに取り組めるように、地域主体の組織運営ができるようにする。

コスト推移	項目	単位	区分	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
	事業費(A)	千円	予算	3,572	3,480	3,351	3,123	2,335
	決算		2,752	2,423	1,422	2,373		
人件費(B)	千円	決算	2,316	2,578	3,170	2,860		
総コスト(C)=(A+B)		決算	5,068	5,001	4,592	5,233		
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		516	459	254	599	—	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値		千円	10	11	18	9		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
将来的なクラブ運営の担い手育成のための勉強会開催回数	回/年	目標	0	4	4	4	4
		実績	0	3	0	0	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
大きな課題の一つであるクラブ運営の担い手を育成するための勉強会開催回数を指標とした。			総合型地域スポーツクラブ運営の担い手を育成するため、定期的な勉強会開催を数値目標とした。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
最終的な目標である地域主体の総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、その達成段階が分かるよう指標を変更したため。							
(前年までの指標)							
会員数							

目標達成状況 ・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 令和元年度に市が開催した勉強会の開催目的は、今後のクラブ運営を担う人材を育成する目的であったが、当初から行政側と参加者との間に認識のずれが生じていて、事業運営が軌道に乗らなかった。参加者に事業趣旨を十分説明したうえで、今後の取組を協議したい。また、令和2年度以降は、コロナ禍もあり定期的な開催ができなかった。
活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和元年度に開催した勉強会の参加者の中には、クラブ運営の担い手として活動する事業内容に負担を感じて、拒否反応を示す人もいた。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) クラブ運営の担い手となることは、市民にとってハードルが高いため、クラブ運営への参画に積極的な市民の発掘をする必要がある。勉強会開催と並行して人材の情報収集を行う。

事務事業①	総合型地域スポーツクラブ事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
(1) 市民の教室参加の延べ人数	人	見込	541	541	—	—	—
		実績	338				
(2) 地域や市民が主体となって設立した運営組織	組織	見込	0	0	0	0	1
		実績	0				
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 総合型地域スポーツクラブ教室では、年齢やレベルを問わず参加することができる教室(幼児体操、ヨガ、テニス等)を18教室開催した。利用者アンケート及び教室評価を実施し、市民ニーズを反映した教室を取り入れるよう見直しを行った。					今後の方向性		改善・見直し

事務事業②	総合型地域スポーツクラブ事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
		実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
		実績					
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>					今後の方向性		

事務事業③	総合型地域スポーツクラブ事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
		実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
		実績					
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>					今後の方向性		

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 現在の総合型地域スポーツクラブは、地域の担い手が不在であるため、市が運営している。そのため、現状の総合型地域スポーツクラブ教室を見直し、一旦、教室開催を指定管理者に引き継ぎ、担い手の発掘や、運営母体の設立に向けて、スポーツに関する見識の高い指定管理者の意見もふまえて事業を展開していく。
中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和7年度までに総合型地域スポーツクラブを設立し、その後のクラブ運営について支援し、令和9年度には、子どもから高齢者まで様々な人がスポーツと触れあうことができるスポーツクラブとして、市民や地域が主体となって運営することを目指す。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、他の健康づくりに関連する事業との統廃合を含めた連携を図ってください。
内部意見への回答	